

## 私とおの100

「おの100に参加して本当に本当に本当に良かった！」と心から思ったあの日から早くも約3ヶ月が経ちました。8月6日から8月10日までの5日間の100km 徒歩の旅の白いゴールテープを切ったあの瞬間の感動は3ヶ月経った今でも忘れません。この仲間たちに出会えて、たくさんの人に支えられて、自分はなんて幸せ者なんだろうと感じました。

私が「おの100」に参加しようと決意したきっかけは友達からの勧誘でした。説明会で生き生きと人前で話す友達の姿を見て、「私もその『おの100』に参加したい」と強く思いました。しかし私はもう大学4年生。今年の夏は教育実習に教員採用試験に、大事なイベントが盛りだくさん。「こんな時期にボランティア活動に参加している場合じゃない」と「おの100」への参加を諦めようとしている自分と、「『おの100』に参加できるのはもう今年の夏しか残されていない」と何が何でも「おの100」に参加したいと思っている自分との葛藤がありました。しかし「何事もやってみなきゃ始まらない」という持ち前の好奇心とチャレンジ精神に押され、結果私は第6回おのみち100km 徒歩の旅の学生ボランティアに申し込んだのです。参加しようと決断したあの日の自分と、相談に乗ってくれた友人、そして何より「おの100」の説明会で生き生きとした表情を見せ、私を魅了してくれた友人に感謝です。

申し込んだその先に待っていたのは心熱い仲間たちとの出会いでした。100km 完歩への熱意は決して中途半端なものではなく本物で、そのために自分が成長し、子どもたちにも5日間の旅を通して成長して欲しいと願うそれぞれの気持ちが研修の度に感じさせられました。そんな仲間たちに刺激され、「私も成長したい」「100km 完歩に向けて行動を起こしていかなくちゃ！」と思いながら毎日を過ごすようになりました。今でもこの仲間たちからの刺激はいつも新鮮で、自分を励ましてくれる元気の素になっています。

一方でそのような嬉しいことばかりではなく、正直しんどいなと思うこともありました。係の仕事がうまく進まないときや、本当に自分は100km 徒歩の旅をゴールできるのかと不安になったときです。そんな時にはもう一度自分のやりたいこと、「100km 完歩」という目標を再確認し、「できる できる 必ずできる」と自分に言い聞かせて乗り切りました。この「できる できる 必ずできる やる気があれば必ずできる」という言葉は人を強くさせる魔法の言葉だと思います。

素敵な仲間との出会い、自分を成長させることができるこの環境、本番5日間で笑顔から元気をくれた子どもたち、そして柿本団長やおの100を支えてくださった皆さんに心から感謝しています。この夏は一生忘れません。